



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 株式会社デジタルメディアプロフェッショナル 上場取引所 東
コード番号 3652 URL https://www.dmprof.com
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (兼) 社長CEO (氏名) 山本 達夫
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 企画管理管 (氏名) 大澤 剛 TEL 03 (6454) 0450
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	699	80.3	30	-	32	-	26	-
2023年3月期第1四半期	387	54.7	△89	-	△83	-	△84	-

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 26百万円 (-%) 2023年3月期第1四半期 △79百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	8.40	-
2023年3月期第1四半期	△26.79	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,684	3,150	85.5
2023年3月期	3,842	3,124	81.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 3,150百万円 2023年3月期 3,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	12.0	150	454.3	150	420.6	120	431.7	38.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	3,152,400株	2023年3月期	3,152,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	7,166株	2023年3月期	7,166株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	3,145,234株	2023年3月期1Q	3,147,278株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7
3. その他	8
(1) 継続企業の前提に関する重要事象等	8
(2) 最近における四半期毎の業績の推移	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2023年5月8日の新型コロナウイルス感染症の2類相当から5類への分類移行もあり、社会経済活動の活性化により、景気は緩やかに回復しました。しかし、急激な円安、物価やエネルギーコストの高騰等が経済、国民生活に与える影響が顕在化しています。また、世界の景気も総じて持ち直しの動きが見られましたが、金融引き締めによる影響に加え、物価上昇等による景気下振れリスクに留意が必要です。

当社グループの属する半導体業界では、短期的には車載向けと産業機器向けは好調、民生電子機器向けは景気後退を受けた需要減と二極化する中で、特にメモリー需要減に伴うマイナス成長が予測されているものの、中期的には、あらゆるモノがインターネットにつながるIoTや人工知能(AI)、ビッグデータ、次世代高速通信規格、自動運転向けの需要拡大が見込まれます。用いた電子機器の生産に影響が出ています。中期的にも、あらゆるモノがインターネットにつながるIoTや人工知能(AI)、ビッグデータ、次世代高速通信規格、自動運転向けの需要拡大が見込まれます。

当社グループの事業領域であるAI/ビジュアル・コンピューティング分野においては、少子高齢化に伴う労働人口の減少、気候変動等の社会・環境課題の解決や安全安心社会の実現に向けたイノベーションの加速やAIの果たす役割の増大が予想されます。

このような環境下において、当社グループは、「Making the Image Intelligent」というパーパスのもと、当社の創業来の強みである画像インテリジェンス(画像の知能化)の力で現実世界の問題を解決し、ステークホルダーに価値をもたらす革新的な製品とサービスを創造することに取り組んでいます。注力分野であるセーフティ分野及びロボティクス分野において、企画から量産までの顧客製品・サービスの開発ライフサイクル全体に亘り、アルゴリズム、ソフトウェアから、当社の強みであるハードウェアまでの一貫開発体制をもって、IPコアライセンス事業、製品事業、プロフェッショナルサービス事業を展開し、付加価値を提供することで、LTV(顧客生涯価値)の最大化を図っています。

当第1四半期連結累計期間の注力分野における具体的な取り組みと成果としては、まずセーフティ分野において、安全運転支援向けとして、既存顧客向けプロフェッショナルサービスを遂行(売上計上は第2四半期以降を予定)するとともに、エッジからクラウドに亘る既存プロジェクトからのリカーリング収益を獲得しました。また、高精度画像認識エッジAIソフトウェア「ZIA SAFE」がデンソーテンの法人向け安全運転管理テレマティクスサービス「Offseg」のドライバーモニタリング機能に採用されました。

ロボティクス分野においては、既存顧客向けプロフェッショナルサービスを遂行(売上計上は第2四半期以降を予定)するとともに、デモ機開発による自律走行ロボット向けの新規ライセンス獲得活動を推進しました。また、資本業務提携先のCambrian社のピッキングロボット向けビジョンシステムのビジネスについては、自動車産業を中心とした製造業等の最終顧客の省人化や生産性向上に向けた製品納入や商談が進捗するとともに、エコシステムを拡張すべく、接続済みの海外製に加えて国内製の主な協働ロボットへの接続対応を完了しました。さらには、認識速度・精度や外乱光等の環境変化へのロバスト性の強みを生かし、協働ロボットと比較して処理能力の高い産業用ロボットを用いた三品産業向け透明体のピッキングを実現しました。

アミューズメント分野においては、稼働が好調なスマートパチスロを含むパチスロやパチンコ向けに画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続するとともに、引き続きこのユニークな2D・3D統合チップの優位性を発揮できる市場セグメントにおけるシェア拡大を目指しています。

また、その他の取り組みと成果として、現行製品の性能を大きく上回るAI IPプロセッサ「ZIA A3000」の開発、性能検証を進めています。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、製品事業において画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続するとともに、Cambrianビジョンシステム等を出荷しました。IPコアライセンス事業においては、AI/GPUランニングロイヤリティ収入、セーフティ分野およびロボティクス分野におけるリカーリング収益、メンテナンスサポート収入等を計上しました。また、プロフェッショナルサービス事業においては、AI/GPU受託開発サービスを提供しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は699百万円(前年同期比80.3%増)、営業利益は30百万円(前年同期営業損失89百万円)、経常利益は32百万円(前年同期経常損失83百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は26百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失84百万円)となりました。

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしていませんが、事業別業績の概要は以下のとおりです。

①IPコアライセンス事業

デジタルスチルカメラ、4Kテレビ、OA機器等のデジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ収入に加え、セーフティ分野およびロボティクス分野におけるリカーリング収益、メンテナンスサポート収入等の計上により、売上高は43百万円（前年同期32百万円）となりました。

②製品事業

「RS1」の好調な量産出荷に加えて、Cambrianビジョンシステム等の売上の計上により、売上高は652百万円（前年同期343百万円）となりました。

③プロフェッショナルサービス事業

ロボティクス分野におけるAI受託開発サービスおよびその他分野におけるGPU受託開発サービスの提供により、売上高は3百万円（前年同期11百万円）となりました。

また、分野別業績の概要は以下のとおりです。

①セーフティ分野

主に、IPコアライセンス事業におけるリカーリング収益およびメンテナンスサポート収入の計上により、売上高は6百万円（前年同期26百万円）となりました。

②ロボティクス分野

主に、製品事業におけるCambrianビジョンシステムの売上計上およびプロフェッショナルサービスの提供により、売上高は23百万円（前年同期4百万円）となりました。

③アミューズメント分野

主に、「RS1」の量産出荷売上の計上により、売上高は630百万円（前年同期332百万円）となりました。

④その他分野

主に、IPコアライセンス事業におけるデジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ収入およびメンテナンスサポート収入の計上により、売上高は38百万円（前年同期24百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,533百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円減少しました。主な変動要因は、現金及び預金が195百万円増加し、売掛金及び契約資産が354百万円減少したことによるものであります。また、固定資産は151百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少しました。主な変動要因は、有形固定資産および無形固定資産がそれぞれ3百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債および固定負債は合計で533百万円となり、前連結会計年度末に比べ184百万円減少しました。主な変動要因は、買掛金が175百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,150百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円増加しました。主な変動要因は、利益剰余金が26百万円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率が85.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

当第1四半期連結累計期間の業績は、主にアミューズメント分野の活況により、売上高は過去最高を更新するとともに、黒字を達成しました。

第2四半期以降は、アミューズメント市場向け画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続するとともに、セーフティ分野におけるライセンス収入やプロフェッショナルサービス収入、およびロボティクス分野における製品事業、プロフェッショナルサービス事業の拡大を見込んでいます。

なお、実際の業績につきましては、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,435,996	2,631,722
売掛金及び契約資産	833,518	479,240
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	22,874	44,905
仕掛品	408	5,055
原材料及び貯蔵品	42,583	36,249
その他	48,427	36,126
流動資産合計	3,683,809	3,533,300
固定資産		
有形固定資産	65,837	62,755
無形固定資産	24,119	20,221
投資その他の資産	68,342	68,445
固定資産合計	158,299	151,422
資産合計	3,842,109	3,684,722
負債の部		
流動負債		
買掛金	553,241	377,631
未払法人税等	23,737	13,248
製品保証引当金	17,351	16,269
その他	105,702	108,772
流動負債合計	700,031	515,920
固定負債		
資産除去債務	17,926	17,992
固定負債合計	17,926	17,992
負債合計	717,957	533,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,882	1,838,882
資本剰余金	1,858,093	1,858,093
利益剰余金	△575,090	△548,678
自己株式	△1,724	△1,724
株主資本合計	3,120,161	3,146,572
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	645	1,310
為替換算調整勘定	3,344	2,927
その他の包括利益累計額合計	3,990	4,237
純資産合計	3,124,151	3,150,810
負債純資産合計	3,842,109	3,684,722

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	387,671	699,165
売上原価	268,413	442,820
売上総利益	119,257	256,344
販売費及び一般管理費	208,524	226,147
営業利益又は営業損失(△)	△89,267	30,196
営業外収益		
受取利息	399	2
為替差益	5,689	2,635
営業外収益合計	6,089	2,637
営業外費用		
有価証券償還損	548	—
雑損失	9	—
営業外費用合計	557	—
経常利益又は経常損失(△)	△83,735	32,833
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△83,735	32,833
法人税、住民税及び事業税	572	6,422
法人税等合計	572	6,422
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△84,308	26,411
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△84,308	26,411

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△84,308	26,411
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	1,178	664
為替換算調整勘定	3,467	△416
その他の包括利益合計	4,646	247
四半期包括利益	△79,661	26,658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△79,661	26,658
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、IPコア等の開発・製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

(2) 最近における四半期毎の業績の推移
2024年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 2023年4月～ 2023年6月	第2四半期 2023年7月～ 2023年9月	第3四半期 2023年10月～ 2023年12月	第4四半期 2024年1月～ 2024年3月
売上高	699,165	—	—	—
売上総利益	256,344	—	—	—
営業利益	30,196	—	—	—
経常利益	32,833	—	—	—
税金等調整前四半期純利益	32,833	—	—	—
四半期純利益	26,411	—	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,411	—	—	—
四半期包括利益	26,658	—	—	—
1株当たり四半期純利益	8.40円	—	—	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	3,684,722	—	—	—
純資産	3,150,810	—	—	—
1株当たり純資産	1,001.77円	—	—	—

2023年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 2022年4月～ 2022年6月	第2四半期 2022年7月～ 2022年9月	第3四半期 2022年10月～ 2022年12月	第4四半期 2023年1月～ 2023年3月
売上高	387,671	537,683	654,471	742,286
売上総利益	119,257	190,020	258,820	292,576
営業利益又は営業損失(△)	△89,267	△13,573	41,887	88,012
経常利益又は経常損失(△)	△83,735	△10,570	35,813	87,307
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△83,735	△10,570	35,813	87,307
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△84,308	△11,143	35,240	82,780
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△84,308	△11,143	35,240	82,780
四半期包括利益	△79,661	△10,990	35,057	84,372
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失(△)	△26.79円	△3.54円	11.20円	26.32円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	3,463,998	3,485,580	3,557,274	3,842,109
純資産	3,015,821	3,004,830	3,039,888	3,124,151
1株当たり純資産	958.23円	954.74円	965.88円	993.30円